

袋井市教育委員会 会議録（要旨）

会議名	令和4年10月 袋井市教育委員会 定例会
招集日時	令和4年10月28日(金)午後1時30分
会議時間	午後1時30分から午後2時15分まで（45分）
場所	浅羽支所 2階会議室
出席者	鈴木一吉 教育長 鈴木万里子 委員 大谷純應 委員 瀬川香織 委員 溝口知秀 委員 (計：5人)
欠席者	無し
傍聴者	無し
当局出席者	城内 優 教育部長 山本裕祥 教育監 石黒克明 教育企画課長 小鷹義晴 おいしい給食課主幹 杉山明子 すこやか子ども課長 加藤邦夫 育ちの森所長 神田明治 学校教育課長 大庭尚文 生涯学習課長 山本義孝 歴史文化館長 内野江梨子 袋井図書館長 山本 浩 教育企画課長補佐 (計：11人) (合計：16人)
会議に付した 事 件	別紙「令和4年10月 袋井市教育委員会定例会 議事日程」の とおり

令和4年10月 袋井市教育委員会定例会 日程
会 議 日 程

- 日程第1 開 会
- 日程第2 会議録署名委員の指名
- 日程第3 会議録の承認
- 日程第4 教育長報告
- 日程第5 教育部月例事業報告
- 日程第6 議 事（会議に付すべき事件）

（1）報告事項

- 報第111号 令和4年度 11月補正（一般会計） 歳入歳出予算要求
- 報第112号 令和4年度 第8回中学生未来会議について
- 報第113号 令和5年袋井市はたちの集いの開催について
- 報第114号 静岡県青少年育成会議「青少年団体等の顕彰」における本市関係者の受彰について
- 報第115号 寄附品の受納について

日程第7 その他

（1）連絡事項

- ア 幼小中一貫教育の認知度について（令和4年6月実施市民意識調査結果より）
- イ 2022高校生リーダー講座（次世代リーダー育成塾）
- ウ 青空図書館の開催について
- エ 「描かれた東海道と袋井」展チラシ

（2）次回定例会等の予定について

- 11月教育委員会定例会
11月10日（木） 午後1時30分～ 教育会館3階ICT研修室

日程第8 閉 会

1 開会

●教育長

2 会議録署名委員の指名

●教育長

鈴木委員と 瀬川委員 を指名

3 会議録の承認

●教育長

4 教育長の報告

●主な報告事項

特段ありませんが、すでに来年度に向けて予算ですとか、組織の話をしているところです。11月の後半には11月市議会の開会が予定されています。児童送迎バスの安全確保について国でも検討されていますが、県においてもマニュアル的なものが作られるということで、それに基づいて安全管理を検討しているところです。

5 教育部月例事業報告

●教育企画課

- ・学校応援プロジェクト「草苺り大作戦」（浅羽南小、袋井東小、袋井南小）（10月1日、15日）
- ・学園統括校長情報交換会（10月24日）

●おいしい給食課

- ・さつまいも等収穫体験（浅羽東小、浅羽北小、袋井東小）（10月19日ほか）

●学校教育課

- ・英検チャレンジ（10月1日）
- ・不登校児等対策連絡協議会（10月4日）

●すこやか子ども課

- ・幼保小接続期のカリキュラム開発会議（10月12日）
- ・山名幼稚園県立入調査（送迎バス安全管理）（10月25日）

●生涯学習課

- ・第2回袋井市はたちの集い実行委員会（10月12日）
- ・袋井市民文化祭（10月28日～）
- ・第48回マーチングバンド東海大会（South Winds出場）（10月30日）
- ・企画展「描かれた袋井と東海道」（10月25日～）

6 議事

●教育長

今回は議決事項、協議事項はございません。報告事項についてお願いします。

【報告事項】

報第111号 令和4年度 11月補正（一般会計） 歳入歳出予算要求

●教育企画課長

11月22日開会の11月市議会に提出する補正予算の、教育委員会として要求している、準備している内容になります。この内容で財政課に提出され、現在、金額などの精査が行われており、今後、補正予算として認められる、次年度当初予算での対応、予算流用による対応などが想定されます。本日は教育委員の皆さんに現在不足している予算や突発的に必要となったもの等を確認いただく意味でご説明させていただき、正式に補正予算案が確定した段階で再度、定例会で協議をさせていただきます。まず歳入は2件ありまして、企業版ふるさと納税寄附金の100万円は、市の第2期の地方創生総合戦略の項目の1つであります子育てと仕事の両立の支援に該当するもので、企業版ふるさと納税の制度に則ってニチアス株式会社様から寄附をいただいたものです。いただいた寄附金は子育て支援センターの今年度の運営予算に充当するものです。つづいて、諸収入の民生費雑入でございますが、令和2年度に5つの小規模保育施設の改修に交付しました国と市の保育対策総合支援事業費補助金について、小規模保育施設側の消費税及び地方消費税が確定したことから、確定した消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額と補助金を精算し、国庫補助金等の返還相当額を計上するものです。なお、当該補助金の交付要綱では翌々年度の6月までに返納するよう規定されており、この時期の予算計上となったものです。続いて歳出です。小学校管理運営費、中学校管理運営費、おいしい給食推進事業費、各学校給食センター管理運営費、認定こども園、公立幼稚園、両図書館の増額補正につきましては、それぞれ光熱水費、燃料費でございます。昨今の石油や液化天然ガスの高騰により電気料金やカス代の値上げへの対応です。なお、月見の里学遊館とメロープラザの支援金の内訳としても電量相当額を補填するものです。小学校施設維持管理事業 1,911万4千円につきましては、新年度、山名小学校に肢体の特別支援学級の開設準備のため、また法定点検での指摘事項や突発的な故障等への対応の修繕料の増額です。中学校施設維持管理事業も同様の理由で2,000万3千円の増額を要求しています。小学校施設維持管理事業の手数料、329万2千円につきましては整備後10年以上を経過する職員室のネットワーク機器の通信環境について、今後の業務の多様化に備えて調査するもので、中学校施設維持管理事業の手数料、109万8千円につきましても同様です。小学校情報教育推進事業の166万円と中学校情報教育推進事業の125万円はそれぞれタブレット端末の故障や破損に対応する修繕料で、タブレットのリース契約の中で無償対応も行ってはいますが、上限を超える修繕や保障外の修繕が必要となったもので、学校を通じて児童生徒や保護者に対し、タブレットの取り扱いについて注意喚起を行っておりますが、小中あわせて200台がこの対応となっております。続いて地域型保育事業につきましては、歳入でもご説明しましたが、小規模保育施設からの返還金のうち、国に返還すべき金額です。認定こども園管理運営事業の修繕料231万円は新年度、若草こども園の保育部の定員を拡大するため、遊戯室にエアコンを設置するものです。最後、債務負担行為になります。市では年度ごとに独立して予算の執行と関連業務の実施を行っておりますが、年度をまたいで、2年以上にわたって予算の執行と関連事業の実施をする場合に行う行政的な手続きを債務負担行為といいます。具体的には小中学校の施設維持管理事業で工事費と設計委託費について、施行期間が令和4年度から5年度となっており、令和4年度中は予算の計上はありませんが、年明け1月から3月にかけて設計や入札などの業者決定の手続きを行います。令和5年度に入りまして速やかに業務に取り掛

かれるよう2か年にまたがり予算を確保するものです。最後、小中学校のスマートスクール事業ですが、これは学校現場で授業支援や学習支援を行うICT支援員の配置を行う委託費で、この事業も新年度に入り、入学や進学により児童生徒のクラスが変わることに対応し、3月から4月にかけて児童生徒のパソコンの設定変更や教員の準備の支援などをスムーズに行うため、令和4年度内に業者を決定し、委託内容の打ち合わせを行い、切れ目のない支援を継続し、次年度においても同様の支援ができるよう、令和6年度までの予算を確保するものです。小学校では令和5年、6年の2か年で5,643万円、中学校では1,643万4千円をそれぞれ計上し、支援員については令和4年度と同程度かそれよりも少なくなるかもしれませんが、人件費の高騰により委託額は増えている状況にあります。以上、現時点で各所属からの要求になります。今後、補正予算として計上するものにつきましては改めて協議させていただきます。

[質疑・意見]

なし

報第112号 令和4年度 第8回中学生未来会議について

●教育企画課長

目的は社会の課題について生徒自ら考え、協働する活動を通して、市政に対する関心や興味を育むこと、また未来の社会を見据えて、今自分たちがすべきことについて、自律的に考えていく姿勢を育むこと、を目的に行います。これまでの経緯ですが、平成27年度から未来会議は始まりました。27年度から30年度までは議場を会場として、議会形式で行っており、子どもたちが原稿を読み上げる形でした。令和元年度から場所を総合センター大会議室に移し、原稿を読み上げるのではなく、子どもたちが自由に意見交換できる場にしようということで改善を図りました。ただそういった形になっても発表で終わってしまう課題は残ってしまっていて、令和3年度からはテーマを設定し、学校の垣根を越えてグループワークを行い、子どもたちが協議を行う場を大切にしたいということで改善を図りました。また代表の子どもたちだけでなく、市内全中学校の2年生がリモートで参加する形にし、未来会議の視聴した後、クラスでも協議を行うようにしました。今年はそれぞれの中学において総合学習の授業でそれぞれテーマを設け、地域をフィールドにした活動、学習を進めている学校もあり、これから進めていく学校もあります。それぞれの学習の中で市政や社会の課題について自分たちにできることを実践しようということで取り組んでいます。そこで中学生未来会議では代表の子どもたちが自校の学習でうまれた課題や成果を持ち寄って、相互に伝え合って、さらにより良い実践につなげていくために議論を行い、個々の学びを深める場としよう、と位置付けています。昨年度との違いとして、昨年はテーマを一つ設定しましたが、今年は学校で学んでいることへの接続を大切にしようということで、それぞれの学校で学んだことで自分たちが生み出した課題や成果を持ち寄って意見を交わしていこうと思います。実施内容としては、開催日は12月22日（木）の午後で、会場は教育会館のICT研修室になります。参加者は各中学校、2年生の代表3名以内で考えています。昨年同様、他の2年生の子も会議にはリモートで参加します。市長、副市長をはじめ、市の関係職員に参加いただきます。教育委員の皆様もぜひ参加いただければ

と存じます。あらためて案内を通知させていただきます。各学校の発表、それを受けてメインであるグループ協議を行います。今後の進め方ですが、今年度は学校でテーマが異なりますので、それをどう成果をつないでいくか、がカギになってきますので、そこは丁寧に行っていきます。9月に各学校で担当教員を選出しましたので、この件については担当による協議で決めたものであります。11月上旬には各学校のテーマが決まってくるので、学校教育課で集約し、すべての学校に下ろしていきます。今日の段階ではテーマは決まっていますが、とりまとまったテーマを教育委員さんへの通知に記載したいと思えます。12月中旬までにはテーマが決まり、子どもたちの課題も見えてきますので、その課題についても事前に他の学校に周知して、会議当日協力できるような準備をしていきます。各学校の代表者は、まず学校の中で成果や課題をすり合わせて、学校として持ってこられるよう準備します。ほかの学校の課題や成果も事前にわかりますので、それぞれ意見を出せるか考えてきます。当日の日程で、大事なものは課題に対する協議になります。去年は協議の時にはそれぞれ大人も入って一緒に議論していただきました。今年も3グループに分かれて同様に大人に入っていただき進めていきたいと考えています。子どもたちの考えに耳を傾けていただき、違った角度の意見、助言がいただけたら、と考えています。学校でリモートで参加する生徒におきましても、ただ見るのではなく、自分たちが考えたこと、感じたことをロイロノートの付箋機能を使って集約して、他の学校に渡して学習に活かしていくことをしていきます。市長には議論に参加いただき、最後メッセージという形でいただいて終了となります。まだテーマが決まっていない段階で具体性に欠けますがよろしくをお願いします。

[質疑・意見]

●瀬川委員

各学校でテーマを決めるということでそれぞれテーマが違うですね。市内4つの中学のテーマを学校の代表3名が3グループにわかれてそれぞれ協議を行うですね。

●学校教育課長

それぞれのグループにすべての学校の代表がいますのでそれぞれの学校のテーマについて、3グループそれぞれで協議する形になります。

●瀬川委員

40分の協議時間で4つの学校のテーマを協議するですね。

●学校教育課長

事前にそれぞれの学校のテーマや課題、成果は知らされていますので、協議の場では自分が思ったこと、考えたことで議論していきます。

●瀬川委員

他校のテーマについても事前に学校代表内でまとめて会議に臨むですか？

●学校教育課長

同じことを言うことはありません。事前に知っておくことで会議に臨む準備ができるということです。これまで当日に発表して、その場で何か意見を言うのは難しいと思えたので、こういった形にしました。テーマによっては自分たちで解決できるものばかりではないので、市政に提案したい、とかいろんな意見が出てくると思えます。異なるテーマで

も共通するものがあるのでは、そんなところにも目を向けさせたいと思います。

●大谷委員

各グループにはコーディネーターとかいるですか。

●学校教育課長

学校教育課の指導主事がファシリテーターとして入ります。

●大谷委員

なかなかその方の力量が問われますね。協議時間が短いですし。10分で一つのテーマを協議するのは大人でも大変です。10分で協議したとなるようにするのは難しいと思いますが面白いテーマが出てきて、学校の特色が出たりすると面白いですね。

●教育長

個人的には4つ議論しなくてもいいのでは、と思います。議論が盛り上がりればそのテーマだけでもいいような、みんながそれでいいとするならそれでいいと思います。ファシリテーターが強制的に終わらせることの方がよくないと思います、議論することが大切なので。

●学校教育課長

課内でもそういった話がありまして、形式的に終わってしまうことを懸念しています。子どもたちが何に食いつくか見極めてファシリテートしていきたいと思います。

●溝口委員

子どもたちは準備はしてくるけど、準備したものを言っておしまいにならないよう、議論することが大切ですので、ファシリテーターの方は議論する方向にもって行ってもらいたいですね。何か面白いことを見つけたらそこを膨らませていくとか、自由な発言ができる雰囲気を作ってください。

報第113号 令和5年袋井市はたちの集いの開催について

●生涯学習課長

ご存じのとおり、民法が改正され、成年年齢が18歳に引き下げられました。ですが、引き続き20歳を対象とし、今年度、記念すべき第1回の「はたちの集いを」来年1月に開催します。内容も会もあらたまったということでリニューアルした形にしようと考えています。この内容については、スポーツ団体や青年会議所、国際交流協会や子ども会、青年団など市内の関係団体ではたちの集い実行委員会を立ち上げまして、これまで2回開催し、内容を検討し、今回お示しする内容で固まったところであります。開催の趣旨ですが、袋井をルーツとする「20歳」の仲間が一堂に会し、これまでの自らの歩みを振り返るとともに、これからの人生目標を確認する機会を設けることを、20歳の若者への餞（はなむけ）とするものです。市民の方がこぞってお祝いをするそんな機会としたいと思っています。コロナ禍の中、人と人とがつながることが困難な状況ですが、そんな状況下でも対面で人と人とがつながる、触れあることが大切だ、という機会になればいいと思っています。この会の主催は、先ほど申し上げましたはたちの集い実行委員会と市と教育委員会の共催となっています。開催日時は来年1月8日（日）午前10時半から式典を開始します。会場はエコパアリーナになります。コロナの感染状況が気になる場所ですが、定員が東側観客席で約3,000人と大きな会場で、参加者は見込みで690人ほどと想定しており収容率が23%

と十分な空間が確保できるということで、エコパアリーナ1会場で行います。そこに一同に会する形で開催します。会の対象者は平成14年4月2日から平成15年4月1日に生まれた方で、市内在住者で約820人、市外転出した対象者が約100人、あわせて920人でして、例年75%が会に出席していますので、参加者は690人を見込んでいます。内容につきましては、細かいところはこれからですが、概ねの内容として、厳粛な式典として実施してきた旧成人式から、式典色を薄め、参加型の内容を盛り込んだ内容とし、参加した人を楽しんでもらう内容とします。市民からのお祝いメッセージを表に出していくなど、みんなでお祝いしている雰囲気を出していきたいと考えています。参加いただける方もその趣旨に沿った方を考えていまして、中学校3年時の恩師や両親などの家族の参加をできるだけ受け入れていきたいと考えています。また来賓は最小限とさせていただきます。感染対策を考慮した会場を確保していますが、基本的な対策としてマスク着用、ワクチン接種の推奨などを実施していきます。会場においても、受付を分散したり、座席も1席空けたりする対策を講じていきます。式典終了後、会場から出た後につきましても、これまでも1か所に集まることがありましたので、分散できる工夫をしていきます。感染状況によっては参加者を対象に抗原検査の実施も考えています。感染状況が悪化した場合は、午前午後の2部制での実施ができるよう体制を整えておきます。以上を基本とて、今後、開催に向け準備を進めていきます。

●教育長

教育委員さんへの案内はどうなっていますか。

●生涯学習課長

先ほど申し上げましたが来賓は最小限にしてありますが、会も変わりましたのでぜひ見ていただきたいと思います。

[質疑・意見]

なし

報第114号 静岡県青少年育成会議「青少年団体等の顕彰」における本市関係者の受彰について

●生涯学習課長

この度、静岡県青少年育成会議におきまして市内の1個人、1団体が青少年団体等の顕彰を受けることになりました。表彰を受ける方は個人では、海野純さんで、スクールガードリーダーとして16年お務めいただき、袋井の子どもたちが安心、安全に生活できるような環境整備に努めていただいています。団体では諸井里山会の皆さんです。人の手が入らなくなった里山を、地域の有志の手で一から整備し、地域住民の憩いの場として、また、子どもたちが自然の中で遊びや体験を楽しめる場として20年に渡り提供していただいています。表彰は、すでにご案内してございますが、11月27日にメロープラザで開催されます「令和4年度 子供・若者育成支援強調月間静岡県大会 in 袋井市」にて行われます。

[質疑・意見]

なし

報第115号 寄附品の受納について

●袋井図書館長

今回、公益信託西川金一・ゆり子図書助成基金から児童用図書 314冊と障がい者サービス用機器類 1式 794,480円のご寄附をいただきました。同基金からは平成9年から寄附をいただいております。累計で14,693,283円の寄附をいただいております。寄附された図書には、「西川金一・ゆり子図書」のシールを貼って活用しています。

●教育長

障がい者サービス用の機器とはどんなものですか。

●袋井図書館長

音訳の図書を作成するため、声を吹き込むパソコンやその周辺機器をいただきました。

[質疑・意見]

なし

7 その他

(1) 連絡事項

- ア 幼小中一貫教育の認知度について（令和4年6月実施市民意識調査結果より）
- イ 2022高校生リーダー講座（次世代リーダー育成塾）
- ウ 青空図書館の開催について
- エ 「描かれた東海道と袋井」展チラシ

(2) 次回定例会等の予定について

11月教育委員会定例会

11月10日（木） 午後1時30分～ 教育会館3階ICT研修室

8 閉会

（午後2時15分閉会）